

# 入学前に（生活編）

小学校に入ると、以下のことができる力が必要になってきます。入学前の一日一日を親子で一緒に過ごしながらか、次のことができるかどうか確かめてみてください。

- 1 自分の名前、誕生日が言えるようにしておきましょう。
- 2 学校までの通学路（特に下校）を覚え、入学までに練習しておきましょう。
  - (1) 子供と一緒に通学路を歩き、子供の目の高さで安全を確認める。
  - (2) 信号のきまり、横断歩道の渡り方、危険な所を確認する。
  - (3) 不審者に出会ったときは、近くの店に入り、助けを求めたり、防犯ブザーを鳴らしたりさせる。（入学後、区より防犯ブザーを配布します。）
  - (4) 学校外で、自分の行動について家の人以外に注意された時でも、素直に話を聞くようにさせる。
- 3 話をしている人の顔を見て、静かに集中して話を聞くことができるようにしておきましょう。
- 4 友達と仲良く過ごし、譲り合いながらお互いの気持ちを伝え合う練習をしておきましょう。
- 5 意思表示がはっきりできるようにしておきましょう。
  - (1) 名前を呼ばれたら、大きな声で「はい」と返事ができる。
  - (2) 挨拶がきちんとできる。  
（おはようございます、いただきます、ごちそうさま、さようなら など）
  - (3) 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。
  - (4) お手洗いに行くこと、体調が悪いことを伝えることができる。
- 6 身の回りのことを自分でできるようにしておきましょう。
  - (1) 1人で寝起きする。（十分な睡眠、早寝、早起き）
  - (2) 朝の洗顔、歯磨き、つめきり、髪をとかす、結ぶなどができる。
  - (3) 食事のルールを身に付ける。（好き嫌いをしない。自分の食べる量を知る。果物のむき方。）
  - (4) 一人でトイレに行ける。トイレの使い方（和式トイレ・流し方）が分かる。
  - (5) 自分の持ち物が分かる。（記名をしっかりと）
  - (6) 自分で衣服の着脱ができる。自分の衣服がきれいにたためる。
  - (7) 持ち物の整理・整頓ができる。
  - (8) 傘の開閉及び留め方、レインコートの着脱ができる。

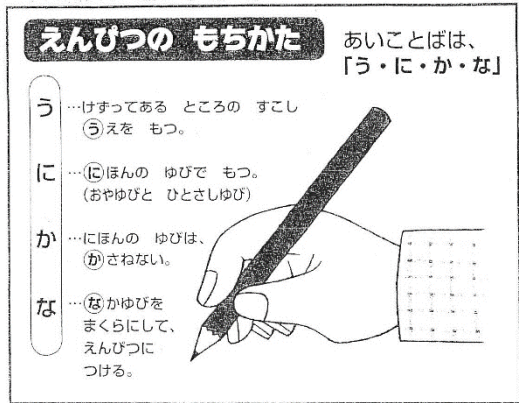
☆子供の体の大きさに合った傘を持たせてください。



# 入学前に（学習編）

- 1 正しい鉛筆の持ち方をさせましょう。
  - ・何をするにも最初が肝心です。誤った鉛筆の持ち方が定着してしまうと、なかなか直すことができません。まずは、鉛筆を正しく持たせることから始めましょう。

## R5 の例



- 2 書かせるよりも、読ませましょう。
  - ・ひらがなは、書けないよりは書けた方がよいですが、字形が整わない字が定着してしまうと、修正することが難しいです。まずは、読めるようにしましょう。
- 3 自分の名前を、読んだり書いたりできるようにしておきましょう。
  - ・名前が書いてあるところに座ったり、荷物を入れたりすることがすぐ始まります。まだ字を覚えていなくても、自分の名前は読めるようにしておきましょう。ていねいに名前を書くことができると、さらによいです。
- 4 語彙力を付けさせましょう。
  - ・語彙力があるのとないのとでは、表現力に差がつきます。お話をたくさんしてあげたり、読み聞かせをしてあげたりして増やしていきましょう。
- 5 人前で話したり、表現したりする機会をもちましょう。
  - ・発言を恥ずかしがる子が増えています。人前で何かする機会があったら、すすんで挑戦させましょう。その際、失敗しても、ほめてあげることが大切です。
- 6 ぶら下がる運動をして握力や腕の力を付けましょう。
  - ・握力や腕の力が弱い子どもは、鉄棒運動が苦手なことが多いです。小さいうちに逆上がり等の経験をさせるためにも、外でいろいろな遊びをして握力や腕の力を付けましょう。
- 7 体をやわらかくしましょう。
  - ・小さいうちは体が柔らかいものですが、すでに開脚や前屈が十分にできない子がいます。どの運動にも柔軟性は求められ、けがも少なくなります。やわらかい体を維持できるよう、ご家庭で柔軟運動をするようにしましょう。